



【参考】

紀美野町指定文化財

弘法大師像（遍照寺大師講蔵）

令和 6 年 7 月 25 日 14:00	
資料提供	
担当課(室)	県立博物館 学芸課
担当者	学芸員 島田 和
電話	073-436-8670 (代表)
E-mail	admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

博物館で聖地巡礼

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念 特別展「聖地巡礼 —熊野と高野—」の開催について

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は平成16年（2004）7月に登録され、令和6年（2024）は20周年の節目の年にあたります。和歌山県立博物館ではこれを記念して、令和6年6月15日（土）から翌年3月9日（日）までの会期で、特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」を開催します。令和6年度は、いつ来てもテーマの異なる世界遺産「紀伊山地の霊場の参詣道」の名品を味わうことができる展示となっています。今もなお人々を惹きつけて止まない熊野三山と高野山、そしてそれらをつなぐ道の魅力について、年間を通じてより深く知っていただきたいと思えます。

第Ⅱ期「神仏・祖師の住まう山 —高野山上・山麓の宗教文化—」開幕！ 前期は 高野山と丹生明神の信仰 がテーマ

真言密教の聖地、高野山。仏教の道場であると同時に、地主神の丹生明神を祀り、神仏が融合して信仰を織りなす山といえます。また祖師・弘法大師空海がいまも永遠の瞑想を続けているという、祖師の住まう聖域でもあるのです。第Ⅱ期の展示では、高野山周辺の貴重な文化財をとおして、今日も大切に受け継がれる、高野山上と山麓の豊かな宗教文化を紹介します。

本展は、前期と後期で大幅な展示替えをおこないます。前期の展示資料は全54点（重要文化財16点、和歌山県指定文化財6点、紀美野町指定文化財1点、九度山町指定文化財1点）、後期は全55点（重要文化財3点、重要文化財(附)1点、和歌山県指定文化財10点、紀美野町指定文化財1点、かつらぎ町指定文化財8点、九度山町指定文化財・有形民俗文化財4点）。前後期の展示資料点数は全108点です。博物館講座やミュージアムトークも開催します。詳しくは開催概要・チラシをご参照ください。

- 【会期】8月3日（土）～9月29日（日） 展示日数46日（前期20日/後期26日）
※前期：8月3日（土）～8月25日（日） 後期：8月31日（土）～9月29日（日）
※8月27日（火）～30日（金）は展示替えのため常設展「きのくにの歩み」のみ開催
※休館日：月曜日、ただし8月12日（月・祝）、9月16日（月・祝）、23日（月・祝）は開館し、各翌日の8月13日（火）、9月17日（火）、24日（火）は休館。
- 【主催】和歌山県立博物館
- 【展示会場】和歌山県立博物館 1階企画展示室（〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14）
※常設展「きのくにの歩み」と併催
- 【開館時間】午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 【入館料】一般520円（420円）、学生310円（250円）
※（ ）は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内の学校に在学中の外国人留学生は無料。
※特別展「聖地巡礼」のスタンプラリーも実施！

前期のみどころ1 高野山の祖師と神々

高野山は、弘法大師空海が弘仁7年（816）に開いた、真言密教の道場です。

弘法大師像・四社明神像【写真1】は、祖師である弘法大師と、地主神の丹生明神をはじめとする四社の祭神とを、対であらわしています。弘法大師像の上下に描かれるのは高野山の景観です。下が高野山の中心となる壇上伽藍、上は弘法大師が今も永遠の瞑想を続けているという奥之院、この二つの場所が、高野山の二大聖域です。

【写真1】

重要文化財 弘法大師像・四社明神像 金剛峯寺蔵



四社明神像



弘法大師像

前期のみどころ2 高野山の名宝が県博に！

弘法大師空海は、中国の唐に留学して真言密教を学び、その教えを日本にもたらしました。本展では、高野山の名宝を展示いたします。

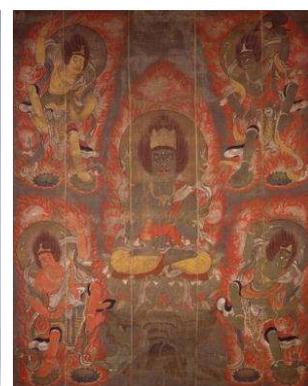
【写真2】は、高野山の教学の拠点である勧学院の本尊として安置されていた大日如来像です。本像の制作は平安時代にさかのぼり、厳かで優美な姿をしています。

【写真3】は、高野山の子院、北室院に伝わる五大菩薩像です。仁王会という法会の本尊で、北室院では今も毎年この像を懸けて仁王会をおこなっています。本展は貴重な公開の機会となります。



【写真2】

重要文化財
大日如来坐像
(旧 勧学院本尊)
金剛峯寺蔵



【写真3】

重要文化財
五大菩薩像
北室院蔵

前期のみどころ3 丹生都比売神社の営み

高野山開創にあたり、空海は丹生明神と高野明神を山上の伽藍に勧請しました。丹生明神の本社は、山麓の丹生都比売神社です。

丹生都比売神社の営みは高野山と常に深く関わっており、さまざまな資料からその様子がうかがわれます。

【写真4】は鎌倉時代（狛犬）と室町時代（師子）の遷宮などの造営においてつくられたとみられ、社殿の前に構えるように安置されていました。

【写真4】

重要文化財 師子・狛犬 1対 丹生都比売神社蔵



師子



狛犬

みどころ4 常設展も衣替え！コーナー展示「弘法大師と高野山の開創」開催

この特別展の前期期間中、常設展示室「空海と高野山」・「熊野詣」のコーナーにおいて、弘法大師空海や高野山に関わる資料12件23点を展示します。